

1 暴風警報・暴風雪警報、大雪警報、**レベル4大雨危険警報**に対する対応
(警報等の発表が予想される場合、前日に臨時休校の判断をする場合もあります。)

発表された場合		解除された場合	
7:00 (登校前)ま でに 発表	自宅待機 保護者が家庭にいない児童については、最寄りの知人等に保護をお願いする等の対応をお願いします。	7:00までに解除	通常どおり登校 通学路の安全確認を行い、解除後も登校に危険が予想される場合は、登校時間を遅らせるか、臨時休校の措置を取ります。大雪警報についても、積雪や降雪の状況により必要な措置を取ります。
登校後に 発表	学校は状況を判断し、必要な措置を取ります。 対応は、警報等により異なります。	7:00を経過	臨時休校

(1) 暴風警報・暴風雪警報・大雪警報・レベル4大雨危険警報の場合

- ・暴風警報・暴風雪警報・大雪警報・**レベル4大雨危険警報**のときは、緊急の場合を除き、集団下校を行います。必要に応じ、教職員が引率して集合場所まで集団下校を行います。
- ・連絡アプリ「Home&School」で下校時刻をお知らせしますので、お家にみえる方は児童の安全な下校にご協力ください。学校側でも確認しますが、お近くの天候や災害、通学路状況の安全について、情報提供をお願いします。
- ・緊急の場合は学校で待機、もしくは引き渡しを行います。引き渡しを行う場合は、体育館にて学年別で「緊急時児童引渡しカード」で確認して地区担当が引き渡しをします。カードに記入されていない方や保護者から直接依頼を受けていない方への引渡しは行いませんので、カード記入者以外への引き渡しについては、依頼されたことが明確にわかるように連絡をお願いします。

体育館での並び方、受付の方を向いて)

舞台

6年
5年
4年
3年
2年
1年

受付

入口

(2) 台風の進路等により暴風警報等が発表が予想される場合

- ・状況によって集団下校で帰宅させる場合があります。
- ・暴風警報等の発表が予想される前日でも、教育委員会の判断で翌日を臨時休校にする場合があります。

2 特別警報(レベル5大雨,暴風,レベル5高潮,レベル5河川氾濫,レベル5土砂災害,波浪,暴風雪,大雪),大津波警報,津波警報,震度5強以上の地震発生に対する対応

本校が該当する特別警報発表, 強い地震発生時		解除された場合
登校前	臨時休校 (公的機関の指示に従い, 身の安全の確保をしてください)	<ul style="list-style-type: none"> 被害が想定されることから, 通学路の安全を確認して連絡アプリ「Home&School」で対応をお知らせします。 登校前に解除された場合, 下記4の対応をお願いします。
登校後	全員学校待機, 避難。 安全が確保できれば引渡し	

3 その他の警報や注意報,天候の急変,緊急地震速報,Jアラートへの対応

・登校後に大雨警報, 洪水警報, 雷注意報, 竜巻注意報, 大雪警報などが発表されたときや, 天候の急変時, 緊急地震速報のときは, 天候の推移や通学路の安全等を検討して, 連絡アプリ「Home&School」で対応をお知らせします。

Jアラートによる緊急情報発信があった場合の対応は, 以下の通りとします。

登校前	自宅待機。授業開始連絡は安全確認後。市内・近隣市町着弾時は臨時休校。
登下校中	危機回避行動。丈夫な建物に避難する, 物陰に隠れる, 地面に伏せ頭部を守る等
在校中	校舎内待機。着弾時は状況に応じ安否情報の伝達等を行います。

4 登校前にお家で危険と判断された場合

・登校前に, 強い雨, 雷, 強風, 吹雪, 強い地震, 河川の増水, がけ崩れなどで危険だと思われるときは, 子どもたちの安全を最優先に自宅で待機させてください。状況が好転するのを待って集団登校させてください。お家にみえる方は, 児童の安全な登校にご協力ください。なお, 大雪警報に準じ, 積雪が学校敷地内で20cm程度に達する場合は, 臨時休校とします。

5 不審者が出没した場合

・校区内, または校区近くに不審者が出没した場合, またはそのような連絡が関係機関から入った場合はお迎えをお願いすることもあります。

6 Jアラート等を通して弾道ミサイル情報が発信された際の対応

(1) Jアラート等により弾道ミサイル落下の可能性を示すメッセージが流れた場合

【校舎内, 家庭内にいる場合】

○できるだけ窓から離れ, 机の下, または床にふせて頭を守る。

※カーテンを閉める。

○爆風(衝撃波)は爆発と時差があるので, 着弾等を視認した場合, 即座に身を守り, しばらく動かない。

【運動場など屋外にいる場合】

○校舎内に避難する。

【登下校中, あるいは外出中の場合】

○近くの建物に避難する。

○近くに建物がない場合は物陰に身を隠すか, 地面にふせて頭を守る。

(2) 近くにミサイルが落ちた場合

【校舎内にいる場合】

○窓を閉め, 目張り(窓の周りビニールテープなどを貼ること)をする。

換気扇がある場合は, 必ず止める。

【登下校中を含め, 運動場などの屋外にいる場合】

○口と鼻をハンカチでおおい, 落ちた場所からすぐに離れ,

密閉性の高い建物の中, または風上へ避難する。

7 南海トラフ地震臨時情報「巨大地震警戒」が発表された場合の対応

南海トラフ地震臨時情報「巨大地震警戒」が発表された場合には, 市内すべての公立小・中学校を一週間臨時休校とします(学校を避難所として開設します。)

原則, 一週間後には学校を再開します。ただし, 災害の状況や避難の実態に応じて, 避難所を継続した状態で学校教育活動を行う場合があります。

8 熱中症特別警戒アラート(熱中症特別警戒情報)発表時された場合の対応

●熱中症特別警戒アラート（熱中症特別警戒情報）発表時における対応

熱中症特別警戒アラートが三重県に発表された場合
※前日の14時頃に発表されます。

臨時休校(四日市市内全公立小中学校)

※臨時休校をお知らせする通知は本市教育委員会より Home&School にて行います。

≪熱中症特別警戒アラート（熱中症特別警戒情報）発表の流れ≫

例

三重県内全ての『暑さ指数情報提供地点』〔注1〕において、7月9日の最高暑さ指数（WBGT 値）〔注2〕が35に達すると予想される場合

- 7月8日の14時頃：環境省から発表

→『7月9日 熱中症特別警戒アラート』

※Home&School にて臨時休校を通知します。

↓

- 7月9日：臨時休校（市内全公立小中学校）

※熱中症特別警戒アラートは一日中（0：00～23：59まで）

継続されます。途中で解除されることはありません。

・注1 暑さ指数情報提供地点：三重県内には四日市市日永を含め、12地点あります。

・注2 暑さ指数（WBGT 値）：熱中症の危険度を判断する数値

→気温・湿度・輻射熱の3つを取入れた温度の指標

※「暑さ指数35」は「気温35度」と同じではありません。